

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	51	個別の外出支援を課題にあげ徐々に外出する機会が増えてきたが、支援内容がまだまだ充実していない。	各利用者の要望・希望を定め、計画を立てて、個別支援に結び付け心身の充実を図る。	各利用者の担当スタッフが要望をくみとり、月一回のカンファレンスで計画し協議する。意思表示が難しい利用者への支援内容を協議する。カンファレンスにて、前回の外出支援について評価を行い、次回に繋げていく。	12ヶ月
2	6	スピーチロックを目標にあげ、職員の意識を向上し、徐々に減ってはきてはいるが、まだまだ「したらダメよ」等の声かけを耳にすることがある。	スピーチロックは拘束である事の意識を高め、心に余裕を持った対応を行いスピーチロックゼロを更に目指す。	身体拘束委員会を中心として、2ヶ月ごとのミーティングを行い、各自がどのような言葉を耳にしたかを挙げることで、次回のミーティングで改善が見られたかを検証する。毎日の介護において、職員が互いに注意し合える環境をつくる。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。